

会員各社で行われている防災・安全衛生に対する取り組み その3

株式会社カンドーで安全・品質保証部を担当しております西谷でございます。

今回このような御報告の機会を得て、当社が取り組んでいる防災・安全衛生活動についてご紹介させて頂くことが、少しでも会員の皆様の御参考になれば幸いです。

当社では、安全衛生管理規程に基づき、前年度末までに作業災害・労働災害防止活動計画を策定し、4月1日より実施いたします。全国安全週間・全国労働衛生週間・全国交通安全運動に連動した取り組みを中心として行うほか、事故・災害が多い連休明けには一段の注意喚起に努めております。また、歳末に向かう11・12月には独自の保安キャンペーンを展開し、巡視を強化して保安意識の高揚を図っております。



株式会社カンドー
常務取締役
西谷 亮 祐

(1) 作業・労働災害に対する取り組み

作業・労働災害防止の取り組みとして、全29拠点の安全衛生委員の集合のもと、毎月1回全体会議を開催し、事故・災害事例の原因や背景を議論し、根本的原因を追求して再発防止策を立案してまいります。そして防止策に必要な備品を配布するなどの惜しみない経営資源の提供により、同じ事象を繰り返し起こさせない措置をとっています。災害を起こさない起こさせないためにも「準備力」を重視し、「作業前TBM」でのポイント周知徹底を図るとともに「各作業工程における指差確認」の中で再発防止策が実施されているかも追加検証しています。

(2) 交通災害に対する取り組み

全社で443台ある車両に対する交通事故防止の取り組みは、本社を含む全拠点で行われる毎朝の朝礼時に「安全運転3カ条」を唱和し一日が始まります。月初には車両点検とドライブレコーダーや運転状況確認ビデオ(各車両に搭載)の抜き取り検証が行われ運転マナーの確認も行われます。また、一度事故が発生すると、毎月全29拠点の委員が集まる会議で事故内容を分析するとともに再発防止策を策定し、それを各事業所で展開を図ります。更に事故発生者には、公共施設を利用した運転訓練や指導員による同乗者訓練などを実施しております。

(3) 安全衛生・職場環境に対する取り組み

健康管理の面においては、定期健康診断の全員受診と中・高齢者は「人間ドック」による管理に努めております。更に生活習慣の改善と体力に応じた効果的な運動を継続し疾病の予防と気力・体力の向上に向けられるよう管工業健康保険組合よりきめ細やかなアドバイスをさせていただいております。

一方、職場環境整備としては、各部・各事業所に配置したコンプライアンス推進責任者による各種ハラスメントの撲滅にむけた啓蒙を行うとともに、社員が健全な職場で仕事のできる環境を醸成するための総務・人事部巡回ヒアリングも実施しております。またメンタルヘルス対応のために外部に相談窓口を設置し「なんでもよろず相談」の名称で社員にとどまらずグループ会社社員およびその家族に至るまで、いつでも気兼ねなく活用できるようにすることで、社員が安心して働ける職場づくりを目指しております。

以上簡単なお紹介となりましたが、会員の皆様の無事故・無災害を祈念し当社の取り組み紹介を結ばさせていただきます。事故・災害を無くすことが会社の繁栄に最も重要であることは言うまでもございません――「ご安全に」